

2023年11月

IRご担当者の皆さま

一般社団法人 日本IR協議会

専務理事 佐藤 淑子

「IRカンファレンス2023」開催のご案内(ハイブリッド形式)

成長戦略の実行力を高めるIR～非財務資本投資と企業価値向上

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は当協議会の活動に格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、日本IR協議会と日本経済新聞社は、「**成長戦略の実行力を高めるIR～非財務資本投資と企業価値向上**」を総合テーマとして、12月19日(火)に「IRカンファレンス2023」を共催いたします。今回は東京・大手町の会場で参加者のみなさまをお迎えするとともに、内容をオンライン配信する“ハイブリッド”形式にて開催いたします。

企業価値と社会価値の双方を高めようとする企業が広がっています。その目的を達成するには、成長戦略を実行して企業価値を高め、持続的な社会形成に貢献する企業として認められる要件を満たすことが重要です。戦略の策定にあたっては投資家をはじめとするステークホルダーと対話し、その視点を織り込んで実行する。重点課題に即して目標を設定し、モニタリング体制を整える。そして財務・非財務の取り組みを融合し、相乗効果を高めていく—そうしたプロセスが重要です。

さらに資本市場で評価を得るには、投資家視点を踏まえた情報開示と対話が欠かせません。成長投資が本格化する中、資本コストを意識した経営資源の配分は必須項目です。非財務資本に投資し、その成果をステークホルダーに還元してモチベーションを高める取り組みも重みを増しています。外部環境もめまぐるしく変化するなか、IRはどんな役割を果たしていくのでしょうか。このカンファレンスでは、成長戦略の実行力を高めて企業価値・社会価値双方の向上に貢献するIRのあり方を浮き彫りにしていきます。

今回のIRカンファレンスも、企業と資本市場を代表するみなさまにご登壇いただけることになりました。双方から注目を集め、活躍されている有識者、サステナビリティと企業価値を結びつける企業経営者、建設的な対話を続ける機関投資家のお立場から、総合テーマに即してお話をいただきます。ご多用中とは存じますが、みなさま方の積極的なご参加をお待ち申し上げます。

敬具

開催概要 (プログラムは4ページをご覧ください)

・**基調講演は、「いま問われる経営の根幹とIR」**をテーマとして、**青山学院大学名誉教授・東京都立大学特任教授・北川 哲雄氏**にご登壇頂きます。

今年にはISSB(国際サステナビリティ基準審議会)が情報開示基準を公表し、グローバルに比較可能な情報開示の広がりが期待されています。日本では2023年3月期から有価証券報告書におけるサステナビリティ情報開示が始まり、SSBJ(サステナビリティ基準委員会)がISSB基準を基にして開示基準の策定を進めています。グローバル企業に目を転じると、欧州(EU)サステナビリティ報告基準などにも注意を払い、危機感をもって経営を進めている企業が目立ちます。日本企業もグローバルな投資家の期待に応える経営とIRが求められます。

・**「IR優良企業賞2023」表彰式は**、当協議会会長の泉谷 直木(アサヒグループホールディングス特別顧問)より**ご挨拶**申し上げた後、審査委員長の北川 哲雄氏(青山学院大学名誉教授/東京都立大学特任教授)から**審査講評**を頂きます。

受賞企業への**トロフィー授与後、経営トップの方からスピーチ**をいただきます。

・**パネルディスカッションは、「成長戦略の実行力を高めるIR～非財務資本投資と企業価値向上」**をテーマに議論します。

今年の日本市場には海外投資家を中心にマネーが流入し、取引も活発化しました。この流れを継続させるには、成長戦略を投資家の視点で説明し、対話を通じて実行力を高めるIRが一層重要になります。3月に東証が要請した「資本コストと株価を意識した経営」の実現は、今年限りのもではありません。企業が自律的に取り組み、目指すところを実現する姿勢が不可欠です。企業は社内外に存在するリスクを踏まえ、戦略の実行力を高めて中長期の企業価値を向上し、社会価値にも貢献していく。投資家はその動きに着目し、的確に判断お金を投じていく--。そのサイクルを回すために、どんなIRが必要なのか。—企業経営層として**日本電信電話 代表取締役副社長(副社長執行役員)廣井 孝史氏**と**村田製作所 取締役 常務執行役員 南出 雅範氏**、機関投資家として**シュローダー・インベストメント・マネジメント 取締役 日本株式運用 総責任者 ファンドマネジャー 豊田 一弘氏**をお迎えしてディスカッションします。

コーディネーターは日本IR協議会専務理事の佐藤淑子が担当する予定です。

・IR支援企業様などによる**分科会(講座)**、**IRショーケース(展示)**も行う予定です。詳しくは、5ページ以降またはウェブサイトをご覧ください。

開催要領

■日 時： 2023年12月19日(火) 9時半～15時45分(9時開場)※メインホールは、10時開場。

※会場参加とオンライン参加によるハイブリッド開催(事前選択)。

なお、分科会のオンライン参加はございません。

※後日、アーカイブ(オンデマンド)配信も予定しております(12月末まで予定)。

視聴方法はカンファレンス終了後、参加申込の皆様は、改めてお知らせいたします。

■会 場： 大手町プレイスカンファレンスセンター(千代田区大手町二丁目3番1号)

■主 催： 日本IR協議会、日本経済新聞社

■後 援： 日本取引所グループ(JPX)／東京証券取引所、日本証券アナリスト協会、
日本公認会計士協会(以上予定)

■参加費：

会 員／1名につき【会場】 4,400円(税込)【オンライン】 3,300円(税込)

非会員／1名につき【会場】 11,000円(税込)【オンライン】 8,800円(税込)

※本カンファレンスは、昼食のご用意はございません。

※お申込み受付後、請求書を発行いたしますので12月末日までにご入金ください。

■お申し込みについて：

○申込方法

当協議会ホームページ <http://www.jira.or.jp/> からお申込みください。

※ 会場聴講のお申込・ご参加は、1社あたり2名様までとさせていただきます。

※ 分科会へのご参加も事前申込が必要です。※分科会のみのご参加はできません。

※分科会のオンライン配信はありません。

※分科会は各会場の定員に達した時点で順次、申込みを締め切らせていただきます。

○申込締切

会場聴講：12月6日(水) オンライン聴講：12月13日(水)

※会場聴講(定員300名)は定員に達し次第、申込みを締め切らせていただきます。

○キャンセル期日、お申込み後の変更について

キャンセルをお受けする期日は、12月14日(木)17時までとさせていただきます。

また、お申込み後に会場参加→オンライン参加への変更は可能ですが、上記の期日以降は、会場参加の参加費となりますことを予めご了承ください。

○その他

*お申込み登録完了後には、参加受付票がメールにて送付されます。参加受付票が受信されない場合には申込みが完了していませんのでご注意ください。

*感染拡大の状況によっては会場聴講を中止し、オンラインのみとなる場合もございます。あらかじめご了承ください、お申し込みをお願いいたします。

*ご記入いただいた個人情報はご本人の承諾なく本フォーラムの実施目的以外には使用いたしません。

*視聴に必要なURL及びID・パスワードを12月15日(金)迄にメールでご連絡します。なお、ID・パスワードはご参加者本人様限りのご使用をお願いいたします。

■オンライン配信について

オンライン配信は、Brightcoveにて実施いたします。

各企業様の社内LAN経由で、セキュリティ設定の関係上、アクセスできない場合がございます。つきましては、貴社IT部門・システム部門等にご相談の上、アクセス環境を確認のうえご参加の申込みをお願いいたします。

<Brightcove Player システム要件>

<https://ja.player.support.brightcove.com/references/brightcove-player-system-requirements.html>

※ご不明の場合には、お申込み前に当協議会あてにお問い合わせください。

※社内LAN以外でアクセスされる場合には、通信状況により動画・音声途中で途切れるなど、視聴に支障が出る可能性があることをご注意ください。

※社内LANからのアクセス不可、社内LAN以外のご利用時の通信障害等が発生いたしましても、参加費のご返金は致しかねます。また通信料は貴社またはご参加者のご負担となります。

IRカンファレンス プログラム

2023年12月19日(火)

9:30-10:15 分科会(別フロア) ※事前登録制

10:30-11:15 基調講演 「いま問われる経営の根幹とIR」

講師: 青山学院大学名誉教授/東京都立大学特任教授 北川 哲雄氏

11:15-12:30 ブレイク (※11:30-12:15 分科会開催)

11:30-12:15 分科会(別フロア) ※事前登録制

12:30-14:00 「IR優良企業賞2023」 表彰式

主催者挨拶 泉谷 直木氏

(日本IR協議会会長/アサヒグループホールディングス 特別顧問)

審査講評 北川 哲雄氏

(優良企業賞審査委員長/青山学院大学名誉教授/東京都立大学特任教授)

受賞企業へのトロフィー授与と経営トップの方によるスピーチ

14:00-14:30 ブレイク

14:30-15:45 パネルディスカッション

「成長戦略の実行力を高めるIR～非財務資本と企業価値向上」

パネリスト:

- ・ 日本電信電話 代表取締役副社長（副社長執行役員） 廣井 孝史氏
 - ・ 村田製作所 取締役常務執行役員(コーポレート本部 本部長 兼 同本部 経営管理統括部 統括部長) 南出 雅範氏
 - ・ シュローダー・インベストメント・マネジメント 取締役 日本株式運用 総責任者 ファンドマネジャー 豊田 一弘氏
- コーディネーター：日本IR協議会 専務理事 佐藤 淑子

15:45 終了

※プログラム内容は予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

展示・分科会など

■主催・後援団体 / 資料設置

日本取引所グループ(JPX) / 東京証券取引所

日本公認会計士協会

日本証券アナリスト協会

日本経済新聞社 情報サービス部門 情報サービスユニット

■IRショーケース（展示時間：終日）

出展社	展示内容
①ジェイ・ユーラス・アイアール	欧米企業やアジア企業に負けないIRの展開に向けたESG、ガバナンスとIRに関する対話のアドバイス、そして、アクティビスト対策・プロクシーファイトへの準備など、なんなりとご相談ください。
②マジカルポケット	コーポレートサイトやIRサイト制作、適時開示情報をメール配信にて自動化し、IR業務を効率化した事例、チャートジェネレーターを使った最新決算グラフの導入事例などを用意しております。
③インベスター・コミュニケーションズ	統合報告書、サステナビリティレポート、決算説明会パワーポイント作成をワンストップで制作を実施する「IR One」サービスを提供。
④サン・フレア	年間1300社以上のクライアント実績を誇る国内最大級の翻訳会社です。IR専門チームでは財務情報、非財務情報などIRに関するドキュメントを高品質・スピーディーに対応致します。

⑤アイヴィジョン (rakumo グループ)	効果的なIR映像の活用方法と、ご担当者様の業務負荷軽減に繋がる運用方法を、企業様に合わせてご案内いたします。具体的な実例や「IR動画における機会損失ポイント」もご紹介させていただきます。
⑥ストックウェザー	IRサイトに掲載する「自社株価表示」や業績財務情報をグラフ化する「業績ロボ」などのコンテンツを紹介。無料で利用可能なサービスも。サイト周りに関するご相談にお気軽にお立ち寄りください。
⑦S&P グローバル・マーケット・インテリジェンス	金融市場・競合他社・各社のパフォーマンス・モニタリング業務の効率化に加え、株主の獲得と定着、株価評価の向上、ボラティリティの低下を実現する一連のソリューションを提供しています。
⑧かえでIRアドバイザー	かえでIRアドバイザーが長年にわたり蓄積してきた英文開示ノウハウを文書化した「IR翻訳入門講義」、「英文開示資料作成マニュアル」および「英文開示のベストプラクティス」をお配りします。

■IR分科会

- ◎分科会では朝はソフトドリンク、昼は軽食をご用意します。オンライン配信はありません。
- ◎IR分科会聴講をご希望の方は、事前のお申込みをお願いします。IR分科会聴講だけの入場は出来ません。※1社あたり2名までのお申込みとさせていただきます。
- ◎当日は必ずIRカンファレンスの受付を済ませてから、IR分科会の会場へお入りください。
- 定員：分科会 ⑤①は73名／⑥②は85名／③は49名／⑦④61名(先着順)
 - お申込み方法：参加を希望する会場・会社名をお申込みください。
- ※当日、講演開始後に空席がある場合のみ事前申込されていない方の入場も認めます。

●朝パート 9:30～10:15 ドリンク付き

開催社／会場	講座内容
<p>【分科会⑤】 (カンファレンスA) かえでIRアドバイザー</p>	<p>◆「英文開示義務化」に向けたTo-Doリスト</p> <p>「来るべきプライム市場上場企業に対する英文開示義務化に向けて、我が社は何をどう準備すべきか」という質問に答えるべく、東証の公表資料をベースに弊社独自の視点から作成したTo-Doリストをお見せします。</p> <p><講師> ○かえでIRアドバイザー 代表取締役社長 寺崎 徹哉</p>

開催社／会場	講座内容
<p>【分科会⑥】 (カンファレンスC) ストリームライン</p>	<p>◆実際の改善事例で見る“あるべきIR資料”とは — 厳選したパワーポイント資料をご紹介します —</p> <p>100社を超えるIR資料作成支援実績から優良事例のご紹介や、独自調査に基づいた資料作成におけるポイントなどを、IR担当者様に向けてお話いたします。 【参加特典】希望者には貴社のIR資料を後日無料で診断。</p> <p><講師> ○ストリームライン コンサルティング営業部 マネージャー 持田 弘樹</p>
開催社／会場	講座内容
<p>【分科会⑦】 (カンファレンスD) S&Pグローバル・マーケット ・インテリジェンス</p>	<p>◆投資家エンゲージメントの重要性について</p> <p>投資家エンゲージメントにおいて、その重要性、企業が考えるべき点、企業が見落としがちな点を踏まえ、いかに企業価値の向上に結び付けるべきかについて、機関投資家、発行企業の視点から議論を行います。</p> <p><講師> ○3D Shareholder Services Head of Stewardship 齊藤 太 ○機関投資家協働対話フォーラム (登壇者後日確定) ○S&Pグローバル・マーケット・インテリジェンス ディレクター ガバナンス担当 松永 敦</p>

●昼パート 11:30～12:15 軽食・ドリンク付き

開催社／会場	講座内容
<p>【分科会①】 (カンファレンスA) アイヴィジョン (rakumoグループ)</p>	<p>◆投資家の満足度向上に繋げるIR動画の活用</p> <p>昨今一般的となったIR動画ですが、活用方法によっては効果に大きな差異が生じています。市場再編の流れを受けたIR動画におけるトレンドや、投資家の満足度向上に繋がるサービスをご紹介します。</p> <p><講師> ○アイヴィジョン(rakumoグループ) 執行役員 ソリューション事業部長 熊田 ゆり</p>

開催社／会場	講座内容
<p align="center"> 【分科会②】 (カンファレンスC) インベスター ・コミュニケーションズ </p>	<p>◆ 新NISA開始、新しい投資家と向き合うには？</p> <p>2024年から新NISAの開始によって、個人投資家の行動はどう変わるのでしょうか。個人投資家に向けたコミュニケーションの方法を当社の支援先企業のケーススタディを通じて考えます。</p> <p><講師> ○インベスター・コミュニケーションズ 富田 耕輔、山本 真也</p>
開催社／会場	講座内容
<p align="center"> 【分科会③】 (ルームFG) Euroland IR </p>	<p>◆ デジタルIR戦略について</p> <p>近年はデジタル技術を活用しての投資家へのアプローチが必須となり、企業はいかにして最新のAI技術やSNSを活用し、IR活動の効率と質を高めることができるのか、具体的な事例や技術を用いて紹介する。</p> <p><講師> ○Euroland IR アジア統括責任者 ジェニー・ホアン／Jenny Huang</p>
開催社／会場	講座内容
<p align="center"> 【分科会④】 (カンファレンスD) ジェイ・ユーラス・アイアール </p>	<p>◆ 海外IRのポイント</p> <p>コロナ禍を経て期待される海外IRは変化しています。PBR改善への期待など日本株への関心が高まっている今、大きなチャンスです。この機会を逃さない良質なIR展開とは。当社の分科会でご案内します。</p> <p><講師> ○ジェイ・ユーラス・アイアール シニアマネージャー 鈴木 紀子 ○ジェイ・ユーラス・アイアール シニアマネージャー 原山 真紀</p>

●お問い合わせ 一般社団法人 日本IR協議会
 〒101-0047 東京都千代田区内神田1-6-6 MIFビル9階
 電話 03-5259-2676 FAX 03-5259-2677
 E-mail: seminar@jira.or.jp